

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（いぶりとうぶ） 胆振東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>胆振東部森林計画区は、北海道の南西部に位置し、沙流川広域流域の西側の胆振総合振興局管内1市4町で構成されている。流域面積は、約230,000haで全道の3%に当たり、胆振東部森林管理署は、このうち約63,000haの国有林を管轄している。</p> <p>当管轄区域は、ほぼ全域が水源かん養保安林等に指定され、工業都市苫小牧市を中心とした都市圏の水源としての重要な役割を担っているほか、都市圏から比較的近く、温泉、渓谷、豊かな森林景観など豊富な観光資源に恵まれ、支笏洞爺国立公園などに指定されていることから、登山や森林散策、キャンプなどのレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに西部を中心とした地域は、風不死・恵庭・樽前の3火山の影響を受け、地質的に侵蝕や崩壊しやすいこと等から、山地災害の防止に対する要望が高い。また、苫小牧市を中心に広がる森林については、人工林を主体に、平成16年9月の台風18号により、多大な風倒木被害を受けたところである。</p> <p>このようなことから、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高く、適切な森林整備を推進することが求められている現状にある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">2,244 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>40,641 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>15.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.9 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>4,982,568 千円</td> </tr> </table>	主な事業内容	森林整備	更新面積	2,244 ha			保育面積	40,641 ha		路網整備	開設延長	15.0 km			改良延長	1.9 km	総事業費			4,982,568 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	2,244 ha																				
		保育面積	40,641 ha																				
	路網整備	開設延長	15.0 km																				
		改良延長	1.9 km																				
総事業費			4,982,568 千円																				
費用対効果分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総 便 益（B）</td> <td style="width: 70%;">130,058,462 千円</td> </tr> <tr> <td>総 費 用（C）</td> <td>10,694,263 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B / C）</td> <td>12.16</td> </tr> </table>	総 便 益（B）	130,058,462 千円	総 費 用（C）	10,694,263 千円	分析結果（B / C）	12.16																
総 便 益（B）	130,058,462 千円																						
総 費 用（C）	10,694,263 千円																						
分析結果（B / C）	12.16																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

整理番号 1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：北海道森林管理局

事業実施地区名：胆振東部森林計画区（いぶりとうぶ）

胆振東部森林管理署

（都道府県名：北海道）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	50,914,895	
	流域貯水便益	9,618,357	
	水質浄化便益	16,420,219	
山地保全便益	土砂流出防止便益	45,026,163	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	4,201,854	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	2,013,576	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	77,539	
	木材利用増進便益	26,823	
	木材生産・確保増進便益	1,729,783	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	17,859	
	森林管理等経費縮減便益	11,394	
総便益 (B)		130,058,462	
総費用 (C)		10,694,263	
費用便益比 (B/C)		12.16	

森林環境保全整備事業 胆振東部森林計画区(北海道) 概要図



対象計画区拡大図

